



私たちのまち山陽小野田市は、合併前に策定された新市建設計画に基づいて、全ての地域で施設が整備されるはずでした。しかし、合併後の現実には、国も地方も財政状況が厳しく、この計画のままでは財政破綻は避けられず、行政のスリム化、効率化を徹底した市民主役のまちづくりが求められることとなりました。

合併直後から、新市の新たな総合計画の策定に着手し、市民と若手職員によるまちづくり市民会議、校区ごとのワークショップや住民アンケート、更には商工会議所や市議会、その他各界からも率直な意見をいただき、この度ようやく、市民と行政との協働によるまちづくりの目標を取りまとめることができました。

計画は10年先を目標に作られています。財源が不透明な部分もあって、全ての施策体系を同じ様に取り扱うことはできないかもしれません。それゆえに、緊急かつ重点的に取り組むべき手法として、4つの視点で施策横断的に重点戦略を立て、具体的な7つのプロジェクトを掲げました。これこそが市民の喫緊の願いを抽出したものとなっています。

私は、財政健全化と、この計画を指針とした市政の運営を実現するには、市民の全ての皆様の御協力が不可欠であり、また、市民と行政が力を合わせ、総力をあげれば、必ず『活力ある住み良さ創造都市』は実現できるものと信じております。

まず、当面の3年間の実施計画を公表します。実践の過程では、市ホームページ、市長への手紙、対話の日などの様々な機会をとらえてお寄せいただく忌憚のない声を反映できるよう、毎年見直します。そして、共に考え、行動し、子どもからお年寄りまで安心して住み続けられる心豊かなまちを目指したいと考えております。

皆様の御協力をどうぞよろしくお願いいたします。

平成20年（2008年）3月

山陽小野田市長

白井博文